



 **新興プラントック株式会社**

決算説明会資料
平成28年3月期 第2四半期

新興プラントック株式会社 証券コード：6379

目次

1. 28年3月期第2四半期の事業環境	2	9. 特別損益・当期純利益	10
2. 28年3月期第2四半期の業績概要	3	10. 貸借対照表	11
3. 受注高の工事種類別内訳	4	11. キャッシュ・フロー	12
4. 完成工事高の工事種類別内訳	5	12. 28年3月期の業績見通し	13
5. 受注残高	6	13. 受注高及び完成工事高の内訳	14
6. 総利益	7	14. 通期の推移	15
7. 営業利益	8	15. 配当について	16
8. 営業外損益・経常利益	9	16. コーポレートガバナンス・コード対応について	16

- 石油業界では、国内石油市場の将来的な縮小を見据えた石油元売りの再編が具体化。事業基盤強化のために電力事業の新事業へ新規参入するなど、事業の多角化に向けた取り組みを進展。
- 石油化学業界は、基礎原料を生産するエチレン設備の統廃合を進める。
原油安や高機能製品の海外向け製品の輸出の伸びにより、業績は改善傾向。
- 石油業界における「エネルギー供給構造高度化法」の新判断基準への対応や石油化学業界における国際競争の激化と将来的な国内需要の減少などの影響により、引き続きメンテナンス投資や設備投資に対しては強弱をつけた対応。
- 前期よりも増加すると見込んでいた定期修理工事の量的規模が想定よりも伸びず。
- 一方、プラント強靱化対策工事、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事、コンビナート連携による新投資工事、競争力のある製品生産のための新規プラント建設工事が堅調に推移。
- 材料費、人件費、外注加工費などのコスト上昇に対し、作業効率の向上などによるコスト低減や間接費および一般管理費の圧縮に継続的に努める。

2. 28年3月期第2四半期の業績概要（連結）

(参考)

(単位：百万円)

	H26.9月期	H27.9月期	前期比	増減率
受注高	43,106	48,143	+5,036	+11.7%
完成工事高	42,881	44,446	+1,564	+3.6%
総利益	4,698	4,842	+144	+3.1%
(率)	11.0%	10.9%	-0.1%	-
一般管理費	1,929	1,829	-99	-5.2%
(率)	4.5%	4.1%	-0.4%	-
営業利益	2,768	3,012	+244	+8.8%
(率)	6.5%	6.8%	+0.3%	-
経常利益	2,919	2,855	-63	-2.2%
(率)	6.8%	6.4%	-0.4%	-
親会社株式に帰属する 四半期純利益	1,719	1,613	-105	-6.2%
(率)	4.0%	3.6%	-0.4%	-
1株当り当期純利益	37.20円	34.91円	-2.29円	-6.2%
受注残高	22,070	27,130	+5,060	+22.9%

(単位：百万円)

	期初発表値（5月8日）との差異	
	差異	増減率
48,000	+143	+0.3%
46,000	-1,553	-3.4%
4,700	+142	+3.0%
10.2%	+0.7%	-
1,900	-70	-3.7%
4.1%	-0.0%	-
2,800	+212	+7.6%
6.1%	+0.7%	-
2,860	-4	-0.1%
6.2%	+0.2%	-
1,700	-86	-5.1%
3.7%	-0.1%	-

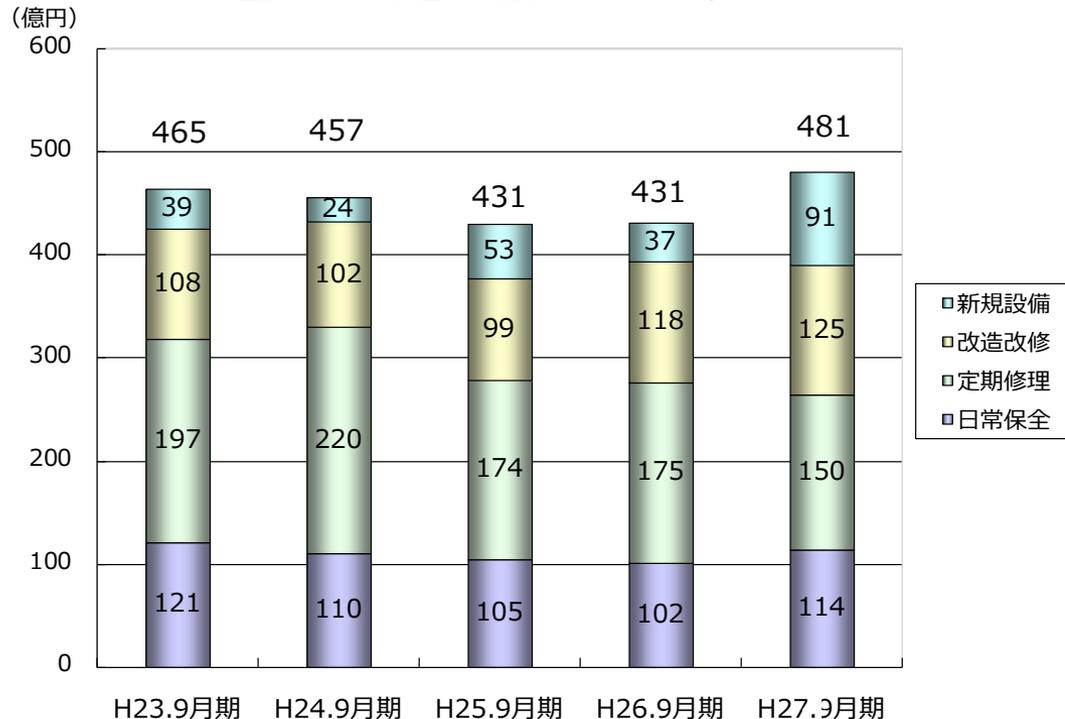
※上記の差異および増減率は第2四半期実績値との比較です。

3. 受注高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

受注高	H26.9月期	H27.9月期	前期比	増減率	期初発表値(5/8)	期初比	増減率
日常保全工事	10,168	11,426	+1,258	+12.4%	11,000	+426	+3.9%
定期修理工事	17,507	15,043	-2,463	-14.1%	15,500	-456	-2.9%
改造改修工事	11,774	12,529	+754	+6.4%	12,500	+29	+0.2%
新規設備工事	3,656	9,143	+5,487	+150.1%	9,000	+143	+1.6%
エンジニアリング業	43,106	48,143	+5,036	+11.7%	48,000	+143	+0.3%

過去5年間の受注高の推移（第2四半期）



● 受注高は前年同期比で50億円の増加
ほぼ期初発表値のとおり

【日常保全工事】

① 前期比で増加。ほぼ期初発表値のとおり

【定期修理工事】

① 予定した大型工事は実施されたものの、工事規模が伸びず
② 前期比で大幅に減少。期初発表値から若干減少

【改造・改修工事】

① タンク関連工事や老朽化・事故防止・安定稼働確保のためのプラント強靱化対策工事などの工事案件が堅調に推移
② ほぼ期初発表値のとおり

【新規設備工事】

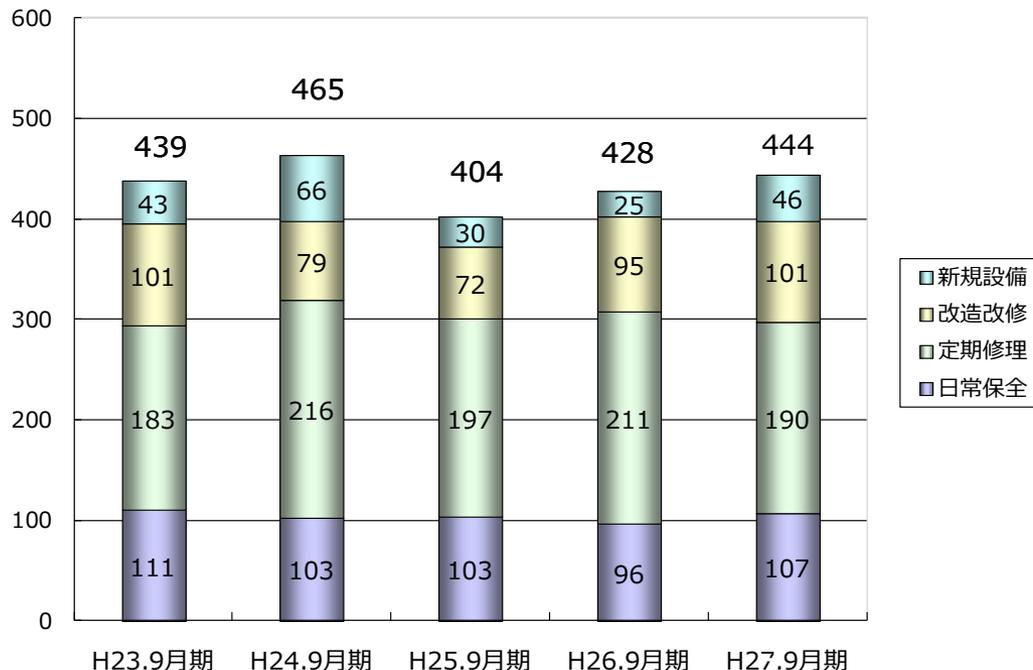
① コンビナート連携、高付加価値化学製品生産プラント、海外の化学製品プラント建設工事など、ほぼ予定通り受注
② 前期比で大幅に増加。ほぼ期初発表値のとおり

4. 完成工事高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

完成工事高	H26.9月期	H27.9月期	前期比	増減率	期初発表値(5/8)	期初比	増減率
日常保全工事	9,644	10,695	+1,051	+10.9%	11,000	-304	-2.8%
定期修理工事	21,140	19,035	-2,104	-10.0%	20,000	-964	-4.8%
改造改修工事	9,467	10,081	+614	+6.5%	11,500	-1,418	-12.3%
新規設備工事	2,524	4,573	+2,049	+81.2%	3,400	+1,173	+34.5%
エンジニアリング業	42,775	44,386	+1,610	+3.8%	45,900	-1,513	-3.3%
その他事業	105	60	-45	-43.2%	100	-39	-39.9%
合計	42,881	44,446	+1,564	+3.6%	46,000	-1,553	-3.4%

（億円） 過去5年間の完成工事高の推移（第2四半期）



- 完成工事高は前年同期比で15億円の増加
期初発表値から15億円の減少

【日常保全工事】

- ① 前期比で増加。ほぼ期初発表値のとおりに増加

【定期修理工事】

- ① 予定した大型工事は実施されたものの、工事規模が伸びず
- ② 前期比で大幅に減少。期初発表値からも減少

【改造・改修工事】

- ① 老朽化・事故防止・安定稼働確保のための投資やプラント再構築などの工事案件が堅調に推移
- ② 上期完工予定が下期にずれ込んだ案件があり、期初発表値からは減少

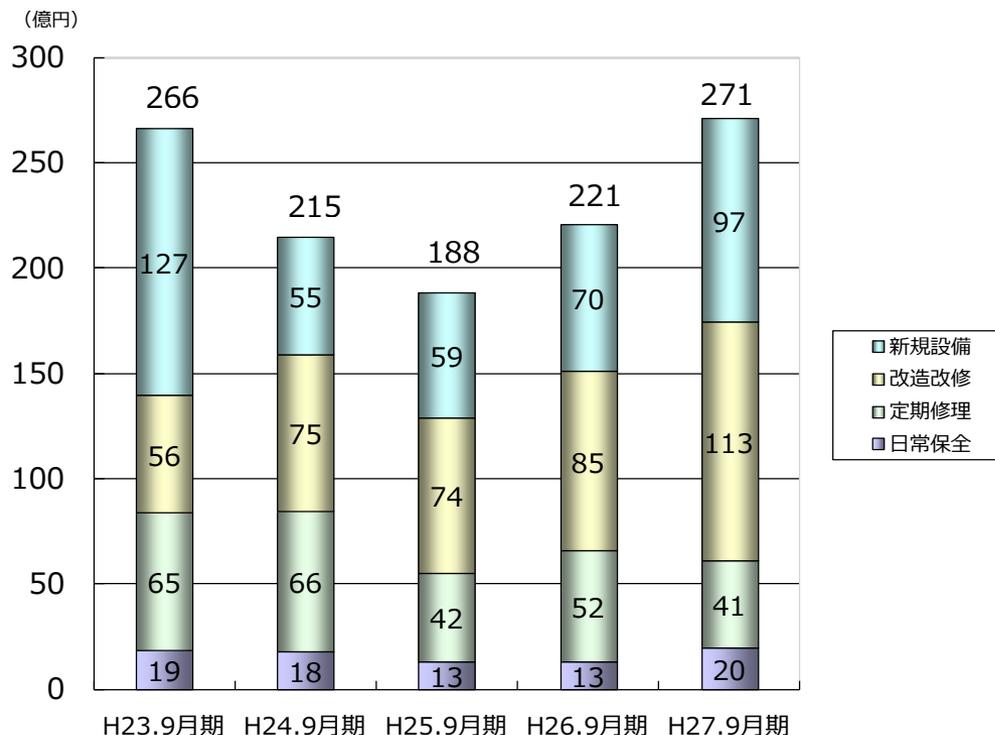
【新規設備工事】

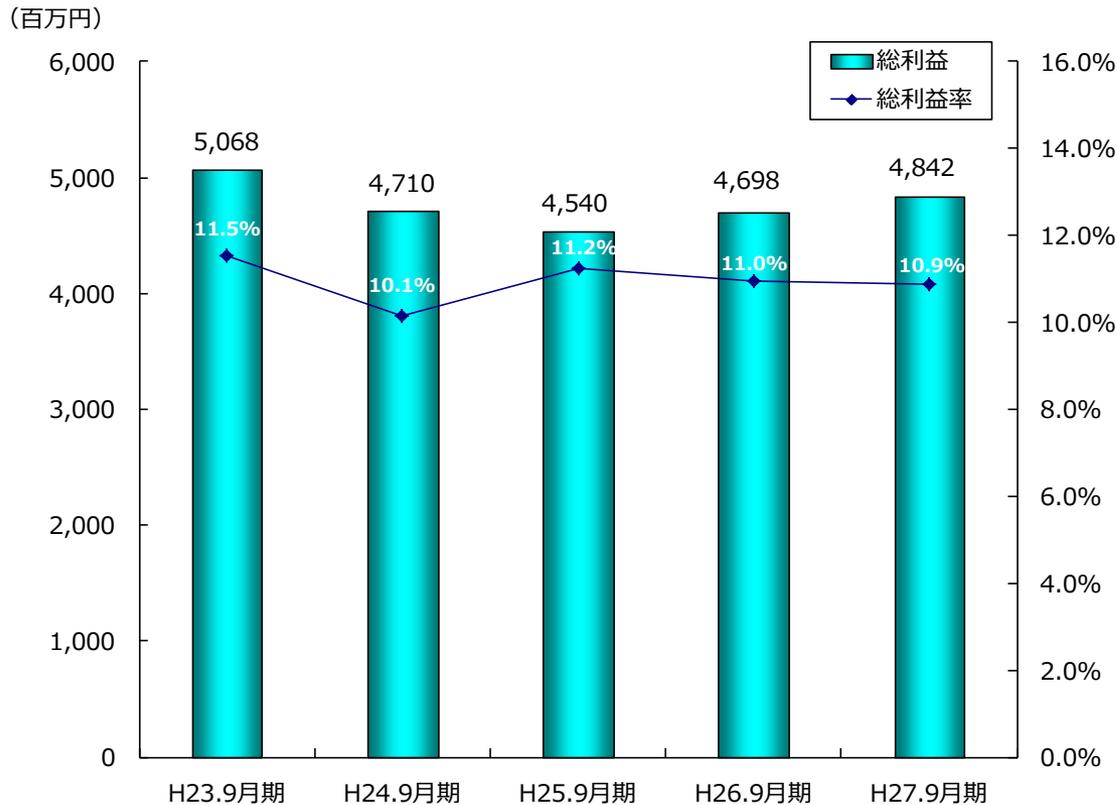
- ① 海外の大型工事の完工
- ② 前期比で大幅に増加。期初発表値からも増加

【過去5年間の受注残高の推移（第2四半期）】

（単位：百万円）

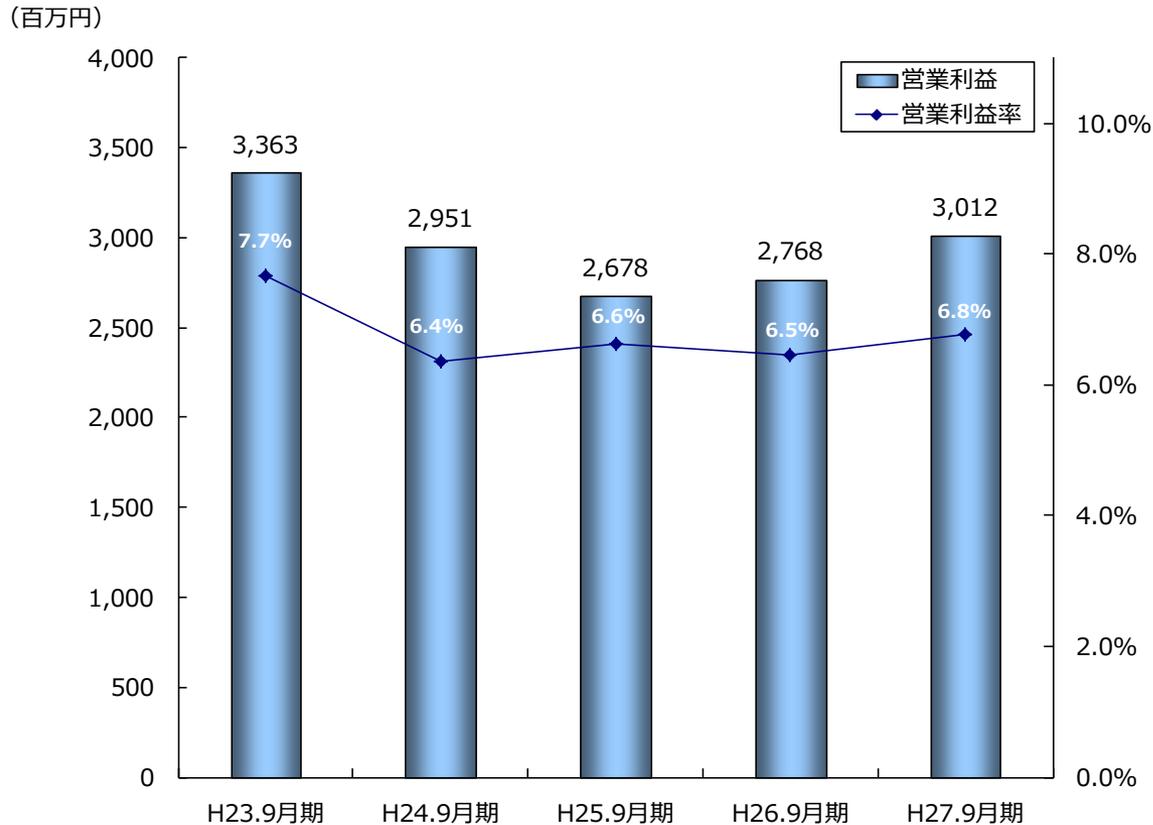
	H23.9月期	H24.9月期	H25.9月期	H26.9月期	H27.9月期
日常保全工事	1,863	1,805	1,342	1,344	2,007
定期修理工事	6,520	6,627	4,183	5,243	4,112
改造改修工事	5,577	7,497	7,404	8,526	11,321
新規設備工事	12,653	5,545	5,894	6,955	9,689
合計	26,615	21,476	18,824	22,070	27,130





- 総利益は48億4千万円。前年同期比3.1%の増加
 - 期初発表値に対しては、総利益額で若干増加
 - 総利益率は11.0%から10.9%と0.1ポイント低下したが、期初発表の利益率10.2%からは0.7ポイント上昇
- 要因：
- 厳しい価格の中で、材料費、人件費、外注加工費などのコスト上昇に対し、作業効率の向上などによるコスト低減や間接費の圧縮により、一定の利益率を維持

7. 営業利益（連結）



- 営業利益は30億1千万円。前年同期比8.8%の増加
- 営業利益率は6.5%から6.8%へ0.3ポイント上昇
期初発表の利益率6.1%からは0.7ポイント上昇

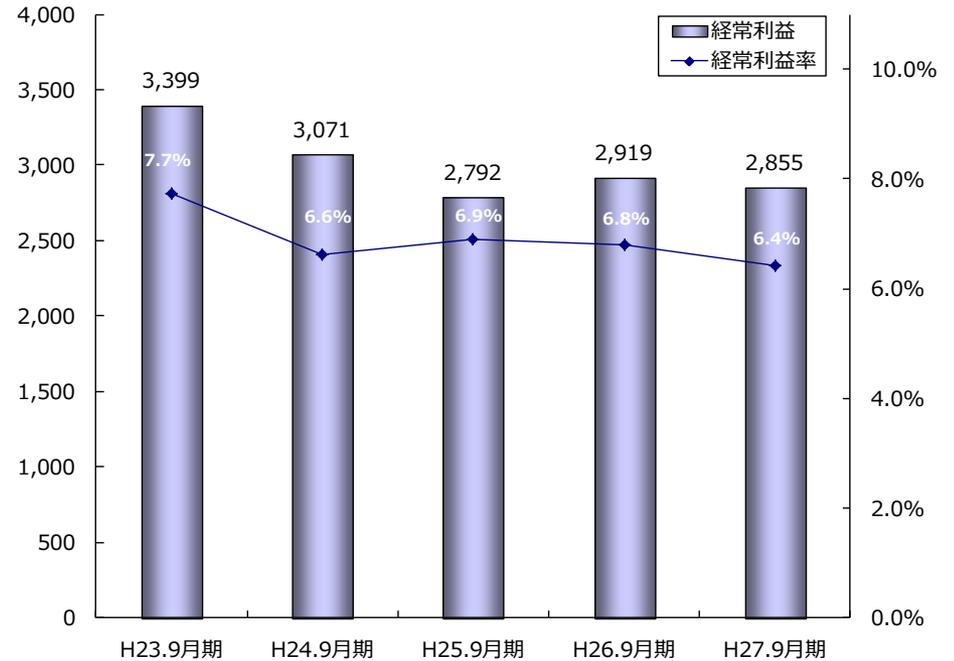
【営業外損益】

(単位：百万円)

	H26.9月期	H27.9月期	前年比
【営業外収益】			
受取利息	3	4	+1
受取配当金	46	45	
受取賃借料	79	76	-2
為替差益	82		-82
その他	38	13	-25
計	251	140	-110
【営業外費用】			
支払利息	7	9	+2
売上割引	54	46	-7
為替差損		210	+210
その他	38	31	-7
計	100	297	+197
【営業外損益】	150	-156	-307

【経常利益】

(百万円)



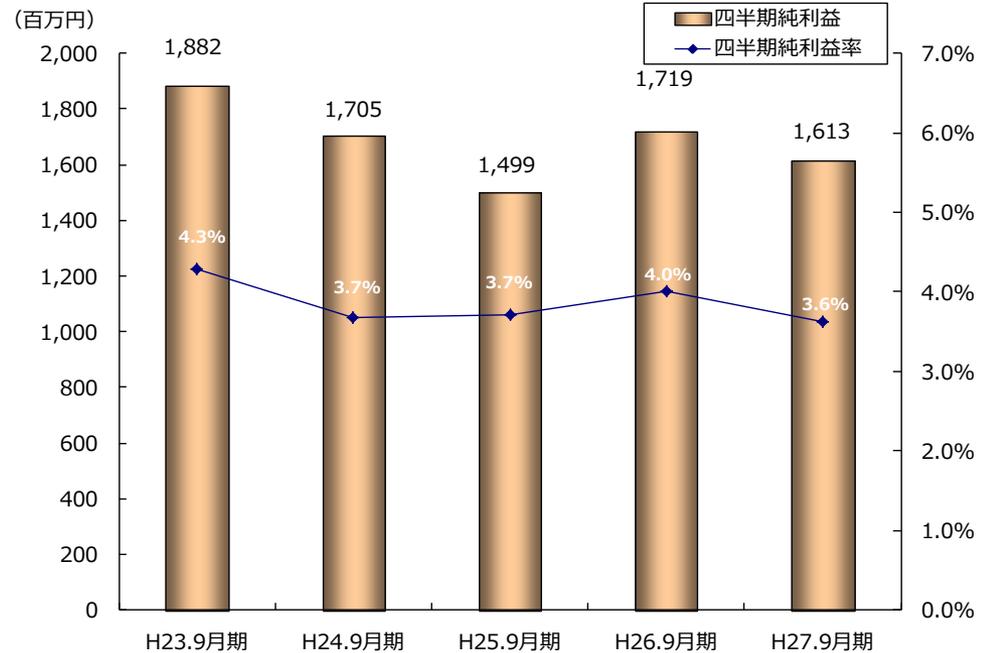
- 外貨建債権の影響により為替差損を計上
- 経常利益は28億5千万円。前年同期比2.2%の減少
- 経常利益率は6.8%から6.4%へ0.4ポイント低下

【特別損益】

(単位：百万円)

	H26.9月期	H27.9月期	前年比
【特別利益】			
固定資産売却益	0	0	+0
投資有価証券売却益	51		-51
計	51	0	-51
【特別損失】			
固定資産売却損	0		+0
固定資産除却損	1	0	-1
減損損失		135	+135
ゴルフ会員権評価損		1	+1
計	1	136	+135
【特別損益】	49	-136	-186

【親会社株式に帰属する四半期純利益】



- 売却予定の固定資産（土地・建物）の減損処理
- 親会社株式に帰属する四半期純利益は16億1千万円。
前年同期比6.2%の減少
- 純利益率は4.0%から3.6%へ0.3ポイント低下

10. 貸借対照表（連結）

(単位：百万円)

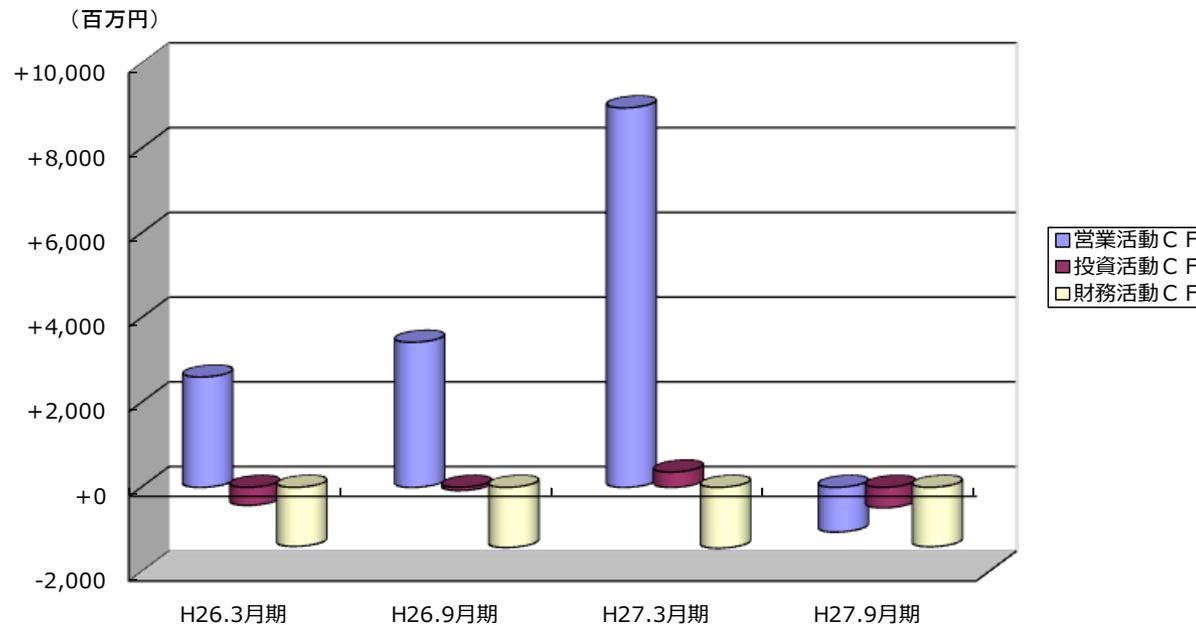
	H26.9月期		H27.3月期		増減		H26.9月期		H27.3月期		H27.9月期		増減		
	実績	構成比	実績	構成比			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比			
【流動資産】	55,287	77.2%	53,089	76.7%	55,594	77.7%	+2,505	【流動負債】	35,867	50.1%	31,798	46.0%	33,988	47.5%	+2,190
現金預金	14,490	20.2%	17,325	25.0%	14,375	20.1%	-2,950	支払手形及び 工事未払金	29,341	41.0%	24,333	35.2%	28,351	39.6%	+4,018
受取手形及び 完成工事未収入金	30,270	42.3%	24,284	35.1%	30,109	42.1%	+5,825	短期借入金	475	0.7%	486	0.7%	494	0.7%	+7
未成工事支出金	9,482	13.2%	7,375	10.7%	7,060	9.9%	-314	未成工事受入金	1,900	2.7%	1,814	2.6%	1,424	2.0%	-390
その他	1,043	1.5%	4,103	5.9%	4,049	5.6%	-54	その他	4,151	5.7%	5,163	7.5%	3,718	5.2%	-1,445
【固定資産】	16,296	22.8%	16,090	23.3%	15,991	22.3%	-99	【固定負債】	2,281	3.2%	1,953	2.8%	1,913	2.7%	-39
有形固定資産	11,530	16.1%	11,321	16.4%	11,255	15.7%	-66	長期借入金	233	0.3%	209	0.3%	187	0.3%	-22
無形固定資産	146	0.2%	189	0.3%	167	0.2%	-21	退職給付に係る負債	1,792	2.5%	1,424	2.1%	1,458	2.0%	+33
投資その他の資産	4,619	6.5%	4,579	6.6%	4,568	6.4%	-11	その他	255	2.9%	318	2.5%	268	2.4%	-50
								【負債合計】	38,148	53.3%	33,751	48.8%	35,902	50.2%	+2,150
								【純資産】	33,434	46.7%	35,428	51.2%	35,683	49.8%	+255
								(内 非支配株主持分)	(475)	(0.7%)	(490)	(0.7%)	(539)	(0.8%)	+48
【資産合計】	71,583	100.0%	69,180	100.0%	71,586	100.0%	+2,405	【負債・純資産合計】	71,583	100.0%	69,180	100.0%	71,586	100.0%	+2,405

※ 自己資本比率（連結） 49.1%

11. キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)

	H26.3月期	H26.9月期	H27.3月期	H27.9月期
営業活動C F	+2,603	+3,425	+8,958	-1,055
投資活動C F	-424	-75	+361	-482
財務活動C F	-1,392	-1,419	-1,435	-1,400
現金及び現金同等物 に係る換算差額	+21	+5	+58	-10
現金及び現金同等物の増減額	+807	+1,936	+7,943	-2,949



12. 28年3月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	通 期					
	H27.3	H28.3 予想			前年比	増減率
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想		
受 注 高	86,374	48,143	46,857	95,000	+8,626	+10.0%
完 成 工 事 高	85,241	44,446	45,554	90,000	+4,759	+5.6%
総 利 益	8,354	4,842	4,158	9,000	+646	+7.7%
（率）	9.8%	10.9%	9.1%	10.0%	+0.3%	-
一 般 管 理 費	3,726	1,829	1,971	3,800	+73	+2.0%
（率）	4.4%	4.1%	4.3%	4.2%	-0.0%	-
営 業 利 益	4,628	3,012	2,188	5,200	+572	+12.4%
（率）	5.4%	6.8%	4.8%	5.8%	+0.3%	-
経 常 利 益	5,063	2,855	2,445	5,300	+237	+4.6%
（率）	5.9%	6.4%	5.4%	5.9%	-0.1%	-
親会社株式に帰属する 当期純利益	3,006	1,613	1,587	3,200	+194	+6.4%
（率）	3.5%	3.6%	3.5%	3.6%	+0.0%	-
1 株 当 り 当 期 利 益	65.04円	34.91円	-	69.22円	4.18円	+6.4%
受 注 残 高	23,373	27,130	-	28,573	+5,200	+22.2%

（参考）

（単位：百万円）

期初発表値（5月8日発表）								
上期			下期			通期		
期初発表値	差異	増減率	期初発表値	差異	増減率	期初発表値	差異	増減率
48,000	+143	0.3%	47,000	-143	-0.3%	95,000	+0	0.0%
46,000	-1,553	-3.4%	44,000	+1,554	3.5%	90,000	+0	0.0%
4,700	+142	3.0%	4,300	-142	-3.3%	9,000	+0	0.0%
10.2%	+0.7%	-	9.8%	-0.6%	-	10.0%	+0.0%	-
1,900	-70	-3.7%	1,900	+71	3.7%	3,800	+0	0.0%
4.1%	-0.0%	-	4.3%	+0.0%	-	4.2%	+0.0%	-
2,800	+212	7.6%	2,400	-212	-8.8%	5,200	+0	0.0%
6.1%	+0.7%	-	5.5%	-0.7%	-	5.8%	+0.0%	-
2,860	-4	-0.1%	2,440	+5	0.2%	5,300	+0	0.0%
6.2%	+0.2%	-	5.5%	-0.2%	-	5.9%	+0.0%	-
1,700	-86	-5.1%	1,500	+87	5.8%	3,200	+0	0.0%
3.7%	-0.1%	-	3.4%	+0.1%	-	3.6%	+0.0%	-

※上記の差異および増減率は左表の実績値または予想値との比較です。

13. 受注高及び完成工事高の内訳（連結）

受注高

(単位：百万円)

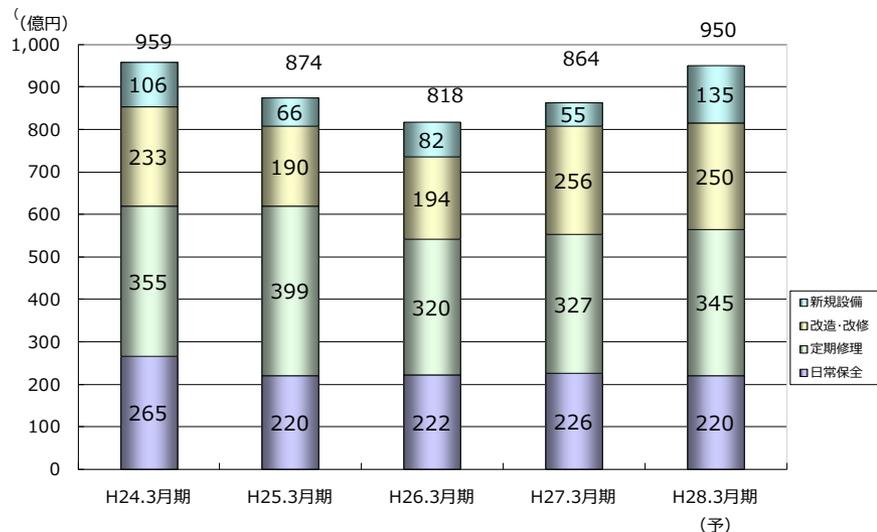
	平成27年3月期	平成28年3月期 予想			前年比	期初発表値(5/8)	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		通期	差異
日常保全工事	22,563	11,426	10,574	22,000	-563	22,000	+0
定期修理工事	32,686	15,043	19,457	34,500	+1,814	35,000	-500
改造改修工事	25,580	12,529	12,471	25,000	-580	23,000	+2,000
新規設備工事	5,544	9,143	4,357	13,500	+7,956	15,000	-1,500
エンジニアリング業	86,374	48,143	46,857	95,000	+8,626	95,000	+0

完成工事高

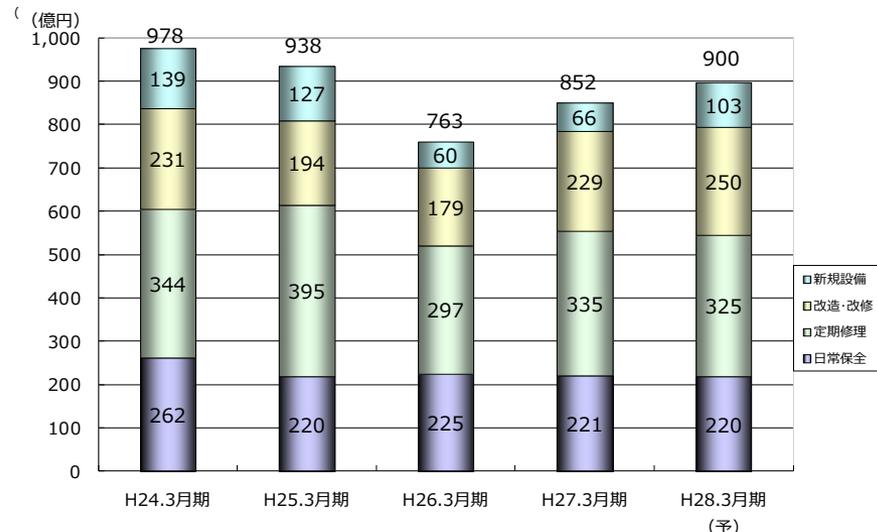
(単位：百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想			前年比	期初発表値(5/8)	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		通期	差異
日常保全工事	22,107	10,695	11,305	22,000	-107	22,000	+0
定期修理工事	33,458	19,035	13,465	32,500	-958	35,000	-2,500
改造改修工事	22,926	10,081	14,919	25,000	+2,074	23,000	+2,000
新規設備工事	6,573	4,573	5,727	10,300	+3,727	9,800	+500
エンジニアリング業	85,065	44,386	45,414	89,800	+4,735	89,800	+0
その他事業	176	60	140	200	+24	200	0
合計	85,241	44,446	45,554	90,000	+4,759	90,000	+0

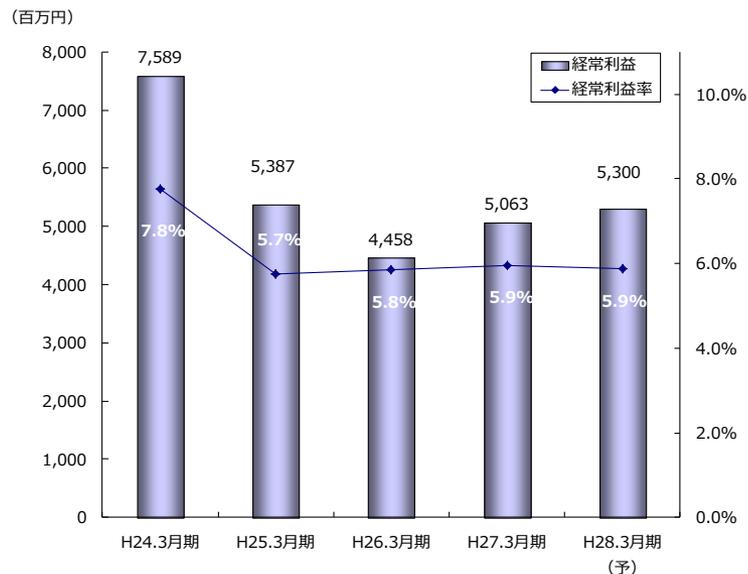
【受注高】



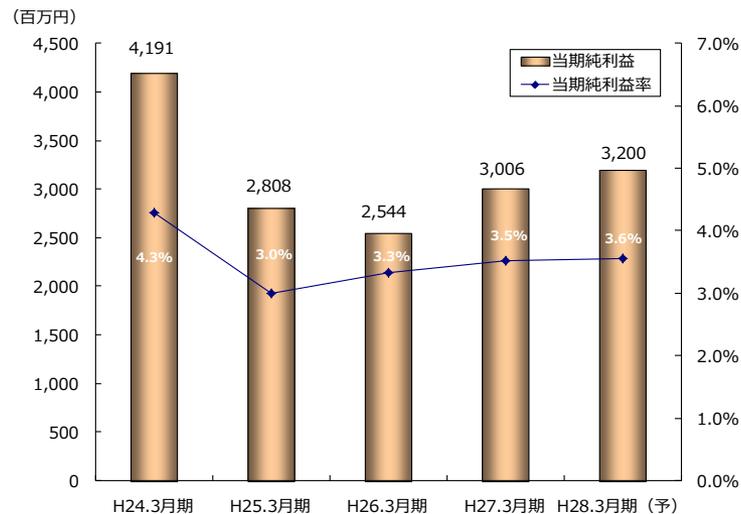
【完成工事高】



【経常利益】



【当期純利益】



配当に関する基本認識

当社グループの事業は、石油・石油化学等のプラント関連のメンテナンスを基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。このような事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものと考えております。

配当方針

株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考えておりますが、配当の継続性および安定性という面にも充分留意して参りたいと考えています。

平成28年3月期 配当予定

- 期末配当 30円

16. コーポレートガバナンス・コード対応について

- 2015年6月1日より東京証券取引所のコーポレートガバナンス・コード適用開始
- 当社グループとして、2015年10月9日に本コードに対応した「コーポレートガバナンスに関する報告書」を提出
- 「コーポレートガバナンスに関する報告書」は当社ホームページをご参照ください。

<http://www.s-plantech.co.jp>

この資料には、平成27年11月10日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

新興プランテック株式会社

〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5

経営企画部 企画グループ

TEL 045-758-1953 / FAX 045-758-1999

E-MAIL : ir-info@s-plantech.co.jp

URL : <http://www.s-plantech.co.jp>